

ロシア関連メモ 003

国際公共政策研究センター
主任研究員 神野

メドベージェフ政権の優先課題(1):2010年～2012年予算編成方針

2009年5月25日、メドベージェフ大統領は国家院において予算教書演説を行い、2010年～2012年の予算編成方針を明らかにした。

ロシアは今年、過去10年間で初めてGDPの7%程度の財政赤字となる見通しであることから、予算編成方針では財政赤字の削減のため支出項目の全般的な見直しを行うことによりコスト削減を進めつつ、ロシアの近代化における最重要課題である経済の効率化と金融システムの強化及び社会的サービスの向上に重点を置くものとなっている。

特に社会的支出については従来の政府の国民へのコミットメントは完全に実行することが冒頭に宣言され、「年金システム改革」と「バリアフリー環境の構築」という具体的項目が挙げられている。

また、予算執行の効果を上げるために、予算計画をプロジェクトベース主体とすること、地方に権限を委譲し、予算計画策定と効果的な執行について地方の責任領域を拡大することが挙げられている。

以下その概要。

【2010年～2012年予算編成方針:項目】

1. 社会的支出コミットメントの完遂
2. 財政赤字削減
3. コスト削減と予算の効果的執行
4. 産業・金融システム支援
5. 公的サービスの質的向上
6. 公共調達システムの改善
7. 起業及び研究開発の促進
8. 予算の効率的執行及び権限委譲
9. 年金システム改革
10. バリアフリー環境構築

【内容】

1. 社会的支出コミットメントの完遂

- ・ 社会保障関連の国家の社会的支出項目に関するコミットメントは完全に実施する。
- ・ この領域において数値目標設定方式を広範囲に採用する。
- ・ 社会的支援プログラム策定にあたっては地方政府の権限を強化し、地方の実情を熟知した専門家に受給者の収入水準等を勘案する等、地方の特性に合ったプログラムを策定させる。

2. 財政赤字削減

- ・ 財政赤字を削減し、準備基金、国民福祉基金の額を維持する。
- ・ 公務員人件費、軍人給与、最低賃金の水準決定のための指標を決定する。今年上期の予算執行状況に基づいて決定し、さらに通年の結果に基づき調整する。

3. コスト削減と予算の効果的執行

- ・ 厳格なコスト削減を行うとともに、支出の優先順位を明確化する。
- ・ 予算計画についてはプログラム及びプロジェクト・アプローチを広く採用し、予算支出の 1 ルールまで最大の経済的・社会的な複合的效果を達成する。

4. 産業・金融システム支援

- ・ 産業及び金融システム支援のために最適な手段を追求するとともに、その有効性を厳しく審査する。
- ・ 支援を受ける企業については、エネルギー効率の改善、労働生産性の向上、技術の近代化を不可欠の条件とする。

5. 公的サービスの質的向上

- ・ 「国家優先プロジェクト」(①ヘルスケア、②住宅、③人口、④教育)及び社会的サービスの提供のための新しい方法を追求する。
- ・ コスト削減とサービス向上につながる場合に限り民営化も検討する。

6. 公共調達システムの改善

- ・ 公共調達システムを改善し、技術的近代化と企業の競争力強化の手段として用いるようにする。
- ・ 公共調達に絡む汚職を廃絶する。

7. 起業及び研究開発の促進

- ・ 起業、技術開発、エネルギー効率の向上等を促進するタックス・インセンティブの導入。
- ・ 年金、医療保険控除の拡大。

8. 予算の効率的執行及び権限委譲

- ・ 政府のあらゆるレベルの権限者に、その支出権限の大きさに応じて、予算を効果的に支出さ

せるとともに、自らの税収のベースを開発するために地方へのインセンティブを創出させる。

- ・ 補助金は公的サービス提供のレベルの過度の不一致がある場合か、それらのサービスの提供のベスト・プラクティスの拡大を促進する必要がある場合にのみ使うこととする（国家優先プロジェクトも含む）。

9. 年金システム改革

- ・ 高齢者に適正な生活水準を保障するための、信頼性がありバランスの取れた年金システムを確立する。
- ・ 2010年に平均年金額を月額 8,000 ルーブルとする（現状月 4,000 ルーブル程度）とともに、最低額を上げる。

10. バリアフリー環境構築

- ・ 障害者のバリア・フリーの環境構築を開始する。「障害者の権利条約」批准にコミットするに必要な措置を行う。

以上